イエローチョーク作戦(ふん害対策)スタート！

犬のふん放置に対し、自治会回覧や掲示板にて後始末のお願いしてきましたが
残念ながら一部の飼い主の不注意により放置されているのが現状です
犬のふん放置している飼い主は、自覚し地域に迷惑をかけない様に心掛けましょう
ふんの後始末はペットを飼う上での飼い主の「マナー」であり「責任」です

地域の環境維持のため住民や他の飼い主の方が回収、処理の協力をしていただいています
ふん放置解消に向け、三田市環境衛生課と協働し、まず弥生が丘自治会がモデル地域としてイエローチョーク作戦（ふん害対策）の啓発活動をスタートします。順次フラワータウン全域に拡げて行きたいと思います

イエローチョーク作戦(犬のふん害対策)の実施

■イエローチョーク作戦とは

道に放置されている犬のふんを減らす方法として、目立つ色でふんを囲い、日時を残すことで放置した飼い主に警告し、困っている人や迷惑を被っている人がいることを伝える取り組みです
また、時間がたてば文字も自然に消えますので「イエローカード作戦」よりも管理が容易です

■取り組み方法

（1） イエローチョーク（黄色チョーク）を１本用意する
（2） 放置されているふんの周囲をイエローチョーク（黄色チョーク）で囲う
（3） ふんを囲った側に発見した日付と時間（例：○／○ 10：00）を書く。
（4） 放置されたふんを強調することで飼い主に警告することが目的のため、しばらく片付けないで様子を見る
（5） 時間を変えて現場を見る
あるとき→「確認日時」を書く
ないとき→「なし」と書く
（6） これを繰り返すことで、飼い主が再び訪れた際、周囲が迷惑していることに気づき、ふん放置をなくしていく取り組みです

犬のふんを放置をする飼い主は「見られています」

ふんを発見してイエローチョーク（黄色チョーク）で記入した確認日時の間で
ふんを放置しているということになります

ふん発見

例：○月○日 10:00
イエローチョークで警告

飼い主が回収

ふんが残されている場合は繰り返す

ふん放置の減少

放

**気持ち良く暮らせる
私たちのきれいな街へ**

三田市環境衛生課
弥生が丘自治会
生活環境部